

国保加入者医療費

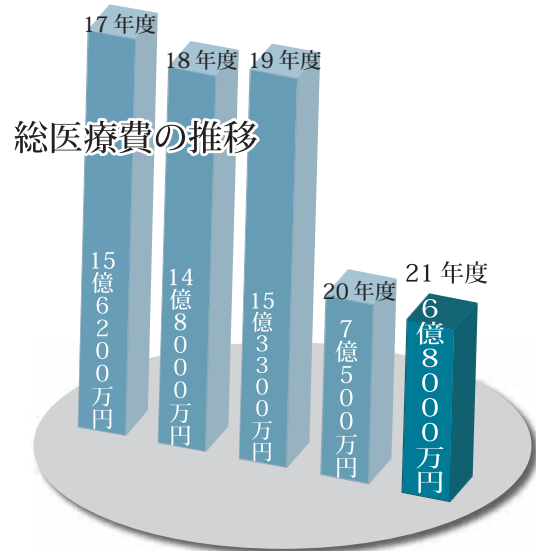
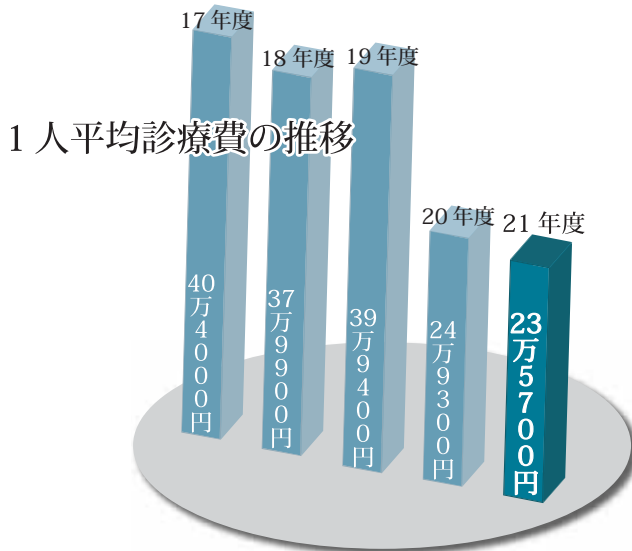
平成21年度の国保加入者（年間平均2,452人）の総医療費は6億8,024万円で平成20年度と比較して、2,567万円、率にして3.637%の減となりました。

国保加入者1人平均の診療費（入院・入院外・歯科）は23万5,677円で、平成20年度より1万3,652円減少しています。

国保加入者受診件数

平成21年度の延べ入院件数は、633件（前年度比50件減）で、1ヶ月平均の件数は53件、入院日数は9,678日（前年度比1,063日減）で、1件平均の日数は15日となり、毎月53人が15日間入院したことになります。また、外来の延べ件数は16,301件（前年度比1,161件減）で、1ヶ月平均の件数は1,358件、外来日数は24,995日（前年度比1,544日減）で、1件平均の日数は2日となり、毎月1,358人が2日間通院したことになります。

1人当たり受診件数を年齢階層別に見ると、70歳から74歳加入者の受診件数は14.7件、65歳から69歳が10.0件、0歳から4歳が9.5件、60歳から64歳が7.1件となっており、乳幼児の方と年を



平成21年度佐呂間町の
国民健康保険医療費は

6億8,024万円

平成20年度比較 /
2,567万円減 (3.637%減)

疾病分類別の受診件数

疾病分類別の受診件数をみると、1位が循環器系疾患で全体の受診件数の22%を占めており、次いで内分泌・栄養及び代謝疾患（11%）、呼吸器系の疾患（11%）となっています。

疾病分類の受診件数をさらに詳しくみると、全体では1位が高血圧性疾患、2位が糖尿病、3位がその他の内分泌、栄養及び代謝疾患（高脂血症が多い）となっています。年代別で見ても、同様の傾向がみられ、この3つの疾患は特に50歳代以降から70歳代前半にかけて年代が高くなることに受診件数が増えています。

高血圧性疾患、糖尿病、高脂血症などの多くは、長年の生活習慣により引き起こされ、特に内臓脂肪の蓄積により、これらの生活習慣病の発症リスクがさらに高くなります。生活習慣病の恐ろしいところは、自覚症状がない場合が多く、知らず知らずのうちに身体の重要な血管の動脈硬化を進行させてしまうことです。命に関わるような重大な病気（心筋梗塞・脳梗塞など）を発症した後に、実は潜在的に糖尿病が進行していた、あるいは血圧が高かったという方も少なくありません。自分の身体状態を十分理解した上で、適切な治療あるいは生活

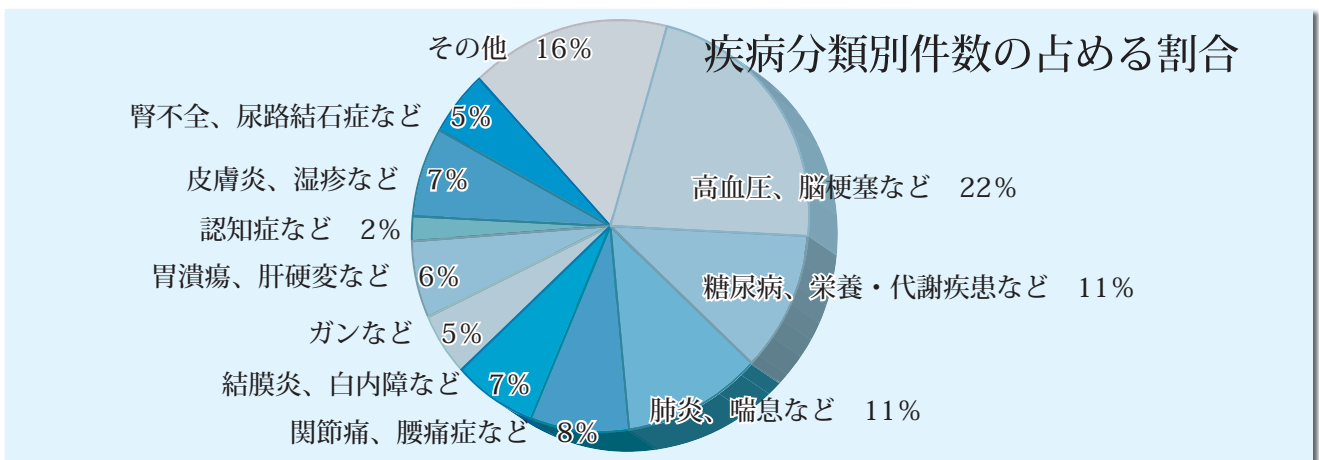
重ねることに受診件数が伸びる傾向にあります。

習慣を送ることが病気の発症予防や進行させないために重要となります。自覚症状のない生活習慣病を早期に見つけるためには、定期的に身体をチェックすることもとても大切です。

そのためにぜひ利用していただきたいのが、平成20年度から実施している『特定健康診査』（以下「健診」）です。健診では血液検査のほか、心電図、眼底、尿検査などの多くの検査項目により、病気を発症する前の段階からの身体の変化を総合的に確認することができます。また、健診は1回受けたから良いというものではなく、経年で見ていくことでさらに自分自身の身体の変化がわかります。毎年健診を受けている方はもちろん、今まで健診を受けたことがないという方も年に1回必ず健診を受けて身体状態を確認してください。

昨年度の健診受診結果から、佐呂間町では糖尿病予備群が多く、30代〜40代の若い年代から徐々に増えてきているという状況が伺えました。血液中の糖分が多い状態が続くと、眼や腎臓の主要な血管がもろくなったり、傷がなかなか治りづらくなる、抵抗力が弱くなるなど身体全体に支障が出てきます。

そのような状態にならない為にも多くの方に健診を受けていただき、健診結果を今までの生活習慣を見直す機会として、生活習慣病予防に役立てていただきたいと思います。



疾病分類別順位（年代別）

| 年代 / 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|---------|----------------|-----------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 0～19歳 | 皮膚炎及び湿疹 | その他の急性上気道感染症 | 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 喘息 | その他の呼吸器系の疾患 |
| 20～29歳 | 屈折及び調節の障害 | その他の妊娠、分娩及び産じょく | 皮膚炎及び湿疹 | 乳房及びその他の女性性器の疾患 | 急性気管支炎及び急性細気管支炎 |
| 30～39歳 | 皮膚炎及び湿疹 | 精神分裂型障害及び妄想性障害 | 乳房及びその他の女性性器の疾患 | 屈折及び調節の障害 | その他の皮膚及び皮下組織の疾患 |
| 40～49歳 | 精神分裂型障害及び妄想性障害 | 高血圧性疾患 | 症状徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 良性新生物及びその他の新生物 | 神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 |
| 50～59歳 | 高血圧性疾患 | 糖尿病 | その他の内分泌・栄養及び代謝疾患 | 症状徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 |
| 60～69歳 | 高血圧性疾患 | 糖尿病 | その他の内分泌・栄養及び代謝疾患 | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 症状徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| 70～74歳 | 高血圧性疾患 | 糖尿病 | その他の内分泌・栄養及び代謝疾患 | その他の心疾患 | 屈折及び調節の障害 |
| 全体 | 高血圧性疾患 | 糖尿病 | その他の内分泌・栄養及び代謝疾患 | 皮膚炎及び湿疹 | 屈折及び調節の障害 |